

令和6年2月26日

報道機関各位

長岡市商工部産業イノベーション課
バイオエコノミー担当課長



バイオ実装・イノベーションで開く、産業活性化 長岡バイオエコノミー・シンポジウムを開催

長岡市は、企業や高等教育機関、金融機関、研究機関など52機関が参画する長岡バイオエコノミーコンソーシアム（会長：磯田市長）と「長岡バイオエコノミー・シンポジウム2024」を開催します。

4回目となる今回は、昨年11月に「長岡・産総研 生物資源循環 ブリッジイノベーションラボラトリ（NAGAOKA・AIST-BIL）」が開設されたことから、バイオ産業の社会実装の実例紹介などを行います。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

長岡バイオエコノミー・シンポジウム 2024

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日時・会場 | 2月27日（火）
第1部【講演会】 午後1時～3時 アオーレ長岡市民交流ホールA
第2部【ポスターセッション】 午後3時～5時
米百俵プレイスミライエ長岡 スタジオAB
第3部【懇親会】 午後5時～6時
米百俵プレイスミライエ長岡 イノベーションサロン |
| 2 | 内容 | 別紙のとおり |
| 3 | 参加者 | 現地170人、オンライン50人（市内企業、関係機関） |
| 4 | 主催 | 長岡市、長岡バイオエコノミーコンソーシアム |
| 5 | 共催 | 産業技術総合研究所、長岡技術科学大学 |
| 6 | 後援 | 内閣府、経済産業省、一般財団法人バイオインダストリー協会
Greater Tokyo Biocommunity、バイオコミュニティ関西
NaDeC 構想推進コンソーシアム、長岡産業活性化協会 NAZE |

■バイオエコノミー

バイオテクノロジーや再生可能な生物資源などを利活用し、持続的で、再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念。長岡市は国が認定（国内6地域）する「地域バイオコミュニティ」に選ばれ、バイオエコノミー社会の実現に取り組んでいます。

（問い合わせ：産業イノベーション課 宮島）
TEL：0258-39-2402

長岡バイオエコノミーシンポジウム 次第

日 時 令和6年2月27日（火）

午後1時～6時

場 所 アオーレ長岡 市民交流ホールA

ミライエ長岡 スタジオ AB

【 第1部 】 アオーレ長岡 市民交流ホールA（13時00分～14時50分）

1 開会

《主催者挨拶》 (13:00～13:05)

長岡バイオエコノミーコンソーシアム会長 長岡市長 磯田達伸

2 講演

《産総研とともに挑む社会実装》 (13:05～13:45)

「北海道センターが取り組む地域イノベーション推進」

○産業技術総合研究所 北海道センター所長 鈴木 馨 様

「産総研とともに歩んだ社会実装研究 ～診断薬製品と原料酵素の開発を例に～」

○産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 総括研究主幹 酒瀬川 信一 様

《地方から日本の発酵を支える事例紹介》 (13:45～13:55)

モデレーター：長岡技術科学大学 教授 小笠原 渉 様

○(株)フジワラテクノアート 原 唯史 様

《基調講演 バイオマスの利活用を日本の酒造り技術に学ぶ》 (13:55～14:35)

○東北大学 大学院農学研究科 教授 五味 勝也 様

《地元事例紹介 コメどころ新潟農業応援隊》 (14:35～14:45)

○N サイクルプロジェクト

BSN長岡支社 支社長 島田 譲 様

株式会社ネオス 取締役社長 村上 敦子 様

《第1部 閉会挨拶》 (14:45～14:50)

○産業技術総合研究所 生命工学領域長 田村 具博 様

(14:50～15:00) 参加者 移動

【 第2部 】 ポスターセッション（15時00分～17時00分）

会場：ミライエ長岡 5階 スタジオ AB

※44社・機関が105枚のポスターを展示

【 第3部 】 懇親会（17時00分～18時00分）

会場：ミライエ長岡5階イノベーションサロン